

リサイクル本多賞 など表彰式を開催

産業環境管理協会

産業環境管理協会は14日、優れた3R研究や技術を表彰するリサイクル技術開発本多賞と資源循環技術・システム表彰の表彰式と発表会を機械振興会館(東京都港区)で開催した。3R先進事例発表会では、全国清涼飲



表彰式の様子

賞。受賞者らには産業環境管理協会の黒岩進専務理事や木原晋一・経済産業省大臣官房審議官から賞状と楯が授与された。黒岩専務理事は冒頭で「この1

料連合会による清涼飲料業界としてのペットボトルのボトル・ホル(水平リサイクル)推進、伊藤忠メタルズの店舗什器・自販機の循環型サプライチェーン構築、エムダイヤの基板剥離機エココレクターの開発・製造などが紹介された。

本年度はリサイクル技術開発本多賞2件、資源循環技術・システム表彰7件8社が受

年は新型コロナウイルス禍でデイクアウト利用が増えプラスチックごみの発生が増加し、豪雨被害などが相次いだことで災害廃棄物の増加も問題となった。このような状況下で3R資源循環や技術開発の重要性がますます注目されている」と語った。

日本国内の取り組みについては、資源循環の効率化や生分解性新素材の開発などが多

面で進んでいると説明。海外の取り組みにも言及し、フランス政府が国家戦略として取

り組むプラスチック包装の削減・再使用・再生の3R事例などを紹介した。